QuietComfort® 3

Acoustic Noise Cancelling headphones

取扱説明書

本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、必要なときにご覧になれるよう保管しておいてください。

※説明の便宜上、イラストは実物と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止を意味します）

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

自動車、オートバイなどの運転をしているときは、絶対にヘッドホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。

このヘッドホンは製品の性格上、外部からの低音が特に聞こえにくくなりますので、警告音なども普段と違った聞こえ方になる場合があります。周囲の音に十分注意し、事故に遭わないように気をつけてください。

歩きながら使用するときも事故を防ぐため、周囲の交通や路面の状況に十分注意してください。

踏切や、駅のホーム、車の通る道、工事現場などの、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

このヘッドホンは、電子回路を含んだ電子機器です。飛行機内でのご使用時には離発着時の機内のアナウンスの指示にしたがってください。

指定された種類の電池以外のものは、使用しないでください。

注意

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。長時間続けて聞きすぎないでください。

始めから音量を上げすぎないようにしてください。大きな音が出て耳を痛めることがあります。音量は、徐々に上げてください。MD、CD等の雑音の少ないデジタル機器は、特にご注意ください。

ほこり、油煙、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。

使用後のバッテリーは、むやみに捨てず正しく処分してください。

落としたり、ぶつけたり、水をつけたり、本体の上に座ったりしないでください。故障の原因となります。

ヘッドホンの二つのポート（穴）は、塞がないでください。大きな音のノイズが出て、耳を痛める恐れがあります。

バッテリーは本体の所定の位置に正しく定着してください。

飛行機内の音楽ソースでは家庭用ステレオシステムやポータブルオーディオと同等の音質は得られない場合があります。

イヤリング、ピアスなどの耳につける装身具は本ヘッドホンの効果を損なうばかりでなく、イヤーパットを破損させたり、けがの原因となります。本ヘッドホンをご使用になる場合は必ず装身具を外してからご使用ください。

デジタルアンプを搭載したポータブルオーディオなど、一部の再生機器では、ご使用いただけない場合があります。

バッテリーのリサイクルにご協力ください。

○使用済みバッテリーは、リサイクル協力店に設置してある小形充電式電池「リサイクルBOX」に入れてください。
詳しくは、一般社団法人JBRCホームページ（http://www.jbrc.com）をご覧ください。
弊社は、一般社団法人JBRCに加盟し、リサイクルを実施しています。

○使用済み充電池をリサイクルする際の注意とお願い。

・使用済みバッテリーは、ショート（短絡）防止のため端子部分にビニールテープなどを貼る等の絶縁処理を行ってください。
・リサイクルBOXに入れるときは、乾電池などの他の電池を混ぜないでください。
・バッテリーを火中に投じると破裂の恐れがありますので、絶対にしないでください。

特　長

アコースティックノイズキャンセリングヘッドホン QuietComfort® 3とは

この度は QuietComfort® 3 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このアコースティックノイズキャンセリングヘッドホンは、その優れた技術、デザインと高品質な素材を使用し、不快なノイズを消去しながら臨場感のあるクリアで心地よい音をお楽しみいただける製品です。

快適かつ効果的にお使いいただくために

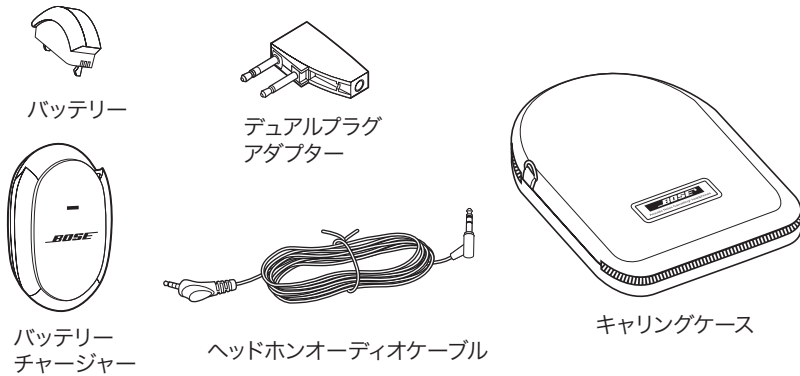
・ヘッドバンドについているＬ（左）とＲ（右）の目印に合わせて、Ｌ側が左耳にＲ側が右耳にくるようお使いください。

・パットがしっかり耳を覆うように、ヘッドバンドの長さと向きを調節してください。

・ヘッドバンドは、頭が軽く抑えられるように長さを調節してください。

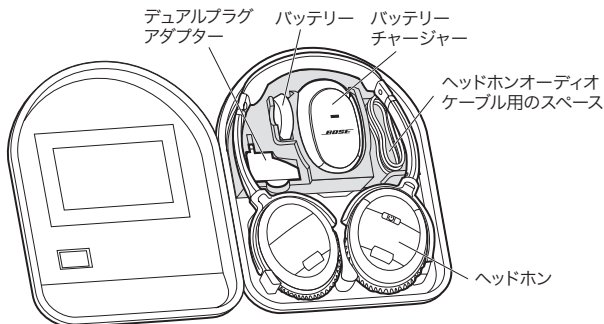
各部の名称

各部の名称

その他の付属品

もし開梱時に損傷などが発見された場合や、内容物が不足しているときはそのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。
そのままでのご使用はおやめください。また、箱や梱包材は、後日製品の修理メンテナンス等が必要になった場合のため保管しておくことをおすすめします。

キャリングケースの使い方

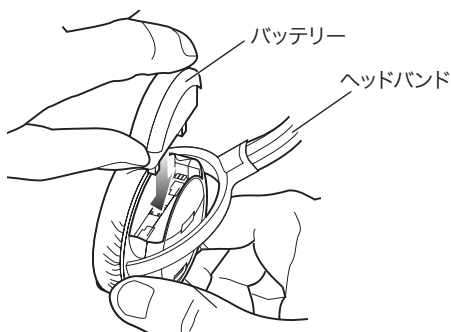
ヘッドホンとアクセサリーを収納できます。また、ヘッドホンを持ち歩く場合は必ずキャリングケースに収納して持ち運んでください。キャリングケースに収納せずにヘッドホンを携帯すると故障や破損の原因になります。携帯時には必ずキャリングケースをご使用ください。

メモ：長期間保管する場合は、バッテリーを完全に充電し、バッテリーチャージャーや本体から外して保管してください。

ヘッドホンの準備

バッテリーの装着

重要

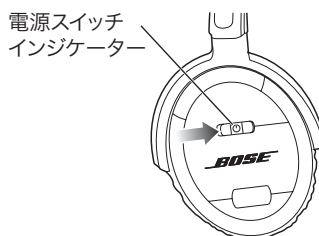
ヘッドホンのご使用を開始する前に、必ず最低 2 時間かけてバッテリーを完全に充電してください。9 ページの「バッテリーの充電」を参照してください。

1. ヘッドホンの電源スイッチをオフにしてください。
2. 右側のヘッドホンを持ちます。
3. バッテリーをバッテリーの取付位置に挿入します。

ヘッドホンの使用

ヘッドホンの装着

ヘッドホンは、ノイズキャンセリング機能だけでも、またノイズをキャンセルしながらオーディオを聞くためにも使用できます。ヘッドホンを装着する際、イヤーカップの左右にあるＬ（左）とＲ（右）の目印を確認してください。ヘッドバンドが、頭の頂点に乗るように調節して、イヤーパットが正しく耳全体を覆うようにしてください。

ノイズキャンセリングのみとしてヘッドホンを使用する場合

必ず電源を入れてください。ヘッドホンオーディオケーブルは接続する必要はありません。

ヘッドホンの使用

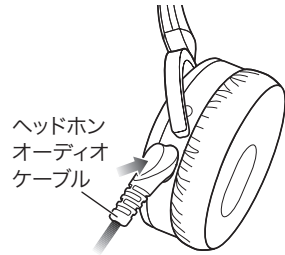
ノイズキャンセリングとともにオーディオ用として ヘッドホンを使用する場合

音源を聞くには、ヘッドホンオーディオケーブルを使用する必要があります。

1.ヘッドホンオーディオケーブルのヘッドホン側プラグを左のイヤーカップに差し込み、反対側をオーディオ機器に差し込みます。

2.突然大きな音が出て、耳を痛めないように、オーディオ機器の音量を下げておきます。

3.オーディオ機器を再生します。

4.本機の電源を入れます。

ヘッドホン
オーディオ
ケーブル

⚠ 注意

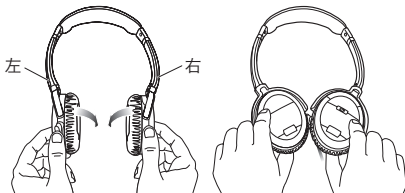
プラグの抜き差しは必ずプラグの部分を持って行ってください。ケーブルを引っぱると断線の恐れがあります。

正しく装着してますか？

・イヤーパットが正しく耳全体を覆っていますか?

・耳の周りに均等な力でイヤーパットが当たっていますか?

・ヘッドバンドを強く頭に押し当てていませんか?
（頭が軽く抑えられている程度が適当です）

・イヤリング、ピアスなどの装身具は外していますか?

収納、持ち運びしやすくする為に図のようにすることができます。

※回転可能な方向が決まってますので無理に反対方向へ回して破損させないようにご注意ください。

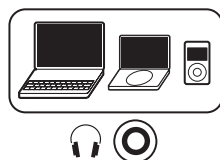
⚠ 注意

・長時間大音量で聞いていると聴覚に支障をきたす恐れがあります。長時間本体をお使いになる場合は、音量を上げ過ぎないようご注意ください。

・運転中や、外部音から遮断されると本人や周りの人に危険を招くような状況では、本体を使用しないでください。

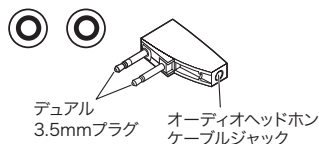
ヘッドホンの使用

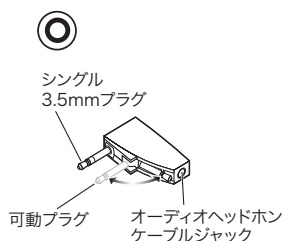
ポータブルおよびホームオーディオへの接続

付属のヘッドホンオーディオケーブルを使用して、外部の機器と接続します。

航空機内オーディオシステムへの接続

航空機内オーディオシステムのオーディオ出力接続はそれぞれ異なりますが、ほとんどがデュアルまたはシングルの 3.5mm 出力ジャックを使用しています。

●デュアル出力ジャックへの接続

ヘッドホンケーブルをデュアルプラグアダプターに差し込み、それをデュアル出力ジャックに差し込みます。

●シングル出力ジャックへの接続

デュアルプラグアダプターの可動プラグを倒してからシングル出力ジャックに差し込みます。音量が小さすぎる場合は、デュアルプラグアダプターを取り外しヘッドホンオーディオケーブルのプラグを直接差し込みます。

バッテリーの充電

バッテリーの取り扱いと注意

●バッテリーを充電する際には、完全に放電する必要はありません。つぎ足し充電ができます。

●バッテリーは放電された状態で保管しないでください。使用後は充電してから、保管してください。

●バッテリーの充電は、温度の高い場所を避けてください。バッテリーの充電は、0℃〜 35℃の範囲内で行ってください。

●バッテリーは消耗品です。完全に充電された新しいバッテリーでは、約 25 時間使用できます。充電、放電をくり返すうちに完全に充電しても使用できる時間が徐々に短くなってきます。この様な場合は新しいバッテリーに交換してください。交換用のバッテリーを注文するには、裏表紙の「故障かな?と思ったら」を参照してください。

●バッテリーチャージャー内およびヘッドホンの右のイヤーカップ内のバッテリーの端子は、いつもきれいにしておいてください。端子が汚れると、接触不良を起こし、正しく働かなくなることがあります。清掃については、11 ページの「お手入れについて」を参照してください。

●使用済バッテリーの回収・リサイクルについては、弊社ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

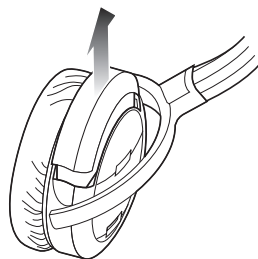
バッテリーの充電について

●バッテリーの残量が少なくなるとインジケーターが点滅を始めます。インジケーターが点滅を始めてから約 4 時間使用できます（使用時間に関しては、お使いの状況により更に短くなる場合があります）。

●バッテリーを使用する場合、新しいバッテリーは必ず最低 2 時間充電してください。

●長時間バッテリーを保管する場合は、完全に充電してから保管してください。

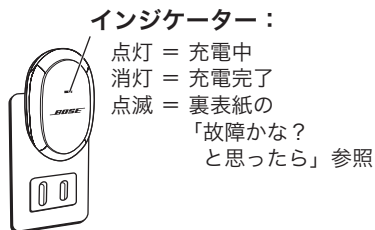
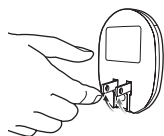
バッテリーの取り外し

電源をオフにして、ヘッドホンの右側を持ち、図のようにまっすぐ上にバッテリーを引き抜きます。

バッテリーの充電

バッテリーの充電

1 . バッテリーチャージャーをコンセントに差し込めるようにします。

2. バッテリーをバッテリーチャージャーに挿入します。

3. バッテリーチャージャーをコンセントに差し込みます。

インジケーター：
点灯 ＝ 充電中
消灯 ＝ 充電完了
点滅 ＝ 裏表紙の「故障かな？と思ったら」参照

重要　バッテリーをバッテリーチャージャーにつけたまま保管しないでください。

・充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから引き抜き、さらにバッテリーチャージャーからバッテリーも外に外してください。

・バッテリーをバッテリーチャージャーにつけたままにすると、時間の経過とともに放電して、バッテリーの性能を劣化させることがあります。

イヤーパットの取り付け方

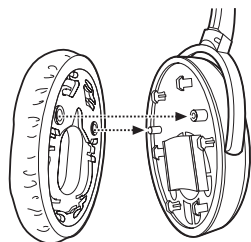
イヤーパットの取り付け方

ヘッドホンについているパットが外れたら、次の方法で取り付けてください。

1 . パット裏の2つの穴をヘッドホンの2つの突起部分に合わせます。

2. パットをヘッドホンに押し付けます。

3. パットの外側周辺の端を押し、所定の位置にはめ込みます。

4. パットの全面が平らでパットとヘッドホンの間に隙間がないことを確認します。

取り替え用イヤーパットのご注文は、
お買い上げになった販売店までお問い合わせください。

お手入れについて

お手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きをしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後、乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり、文字が消えたり、外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

バッテリーとバッテリー挿入部の端子のお手入れについて

バッテリーとバッテリー挿入部の端子は、必ず乾いた布または、綿棒等を使用してやさしく拭きます。あまり強くこすると、端子部分を破損する恐れがあります。

その他の注意事項

●ヘッドホンの外側にあるポートに異物が入らないようご注意ください。

●水分がポートやヘッドホンの内側に入らないようご注意ください。

その他の特記事項

●本体はノイズをキャンセルし、快適に音楽を楽しんでいただくことを目的に設計されていますが、パイロット用や FAA に定められている飛行中のコミュニケーション用としては設計されていません。本来の目的以外には使用しないでください。

●飛行機内でのご使用に際しては、各航空会社の指示にしたがってください。

●デジタルアンプを搭載したポータブルオーディオなど、一部の再生機器では、ご使用いただけない場合があります。

仕様

電力定格

バッテリチャージャー：100VAC 〜 240VAC、5.5W

バッテリー：3.7VDC、200mAh

故障かな?と思ったら

トラブル	対処方法
ノイズがキャンセルされない	● ヘッドホンの電源スイッチがオンであることを確認します。 ● バッテリーを充電します。
音が小さすぎる、聞こえない	● 接続している機器の電源が入っていることを確認し音量を上げます。 ● デュアルプラグアダプターを外してみます。 ● 外部の機器と、ヘッドホンを接続しているオーディオヘッドホンケーブルが正しく接続されていることを確認します。
バチバチという音がする、ノイズのキャンセリング効果が途切れる	● バッテリーを充電します。 ● バッテリーとバッテリー挿入部の端子を掃除します(11ページ)。 ● バッテリーを交換します。
低いゴロゴロという音が聞こえる	● イヤーカップが正しく耳全体を覆うようにしてください。 ● イヤーカップの全てのポートを塞がないようにしてください。
バッテリーチャージャーインジケーターが点滅する	● バッテリーを取り外し、10秒待ち、再び取り付けます。 ● バッテリーチャージャーをコンセントから取り外し、10秒待ち、再び取り付けます。 ● 気温が0℃～35℃のバッテリーチャージャー許容範囲であることを確認します。 ● バッテリーを交換します。 ● バッテリーチャージャーを交換します。
充電してもすぐに電池がなくなる	● バッテリーを交換します。 ● バッテリーチャージャーを交換します。
音が歪んで聞こえる	● 音源側の出力に低音ブーストがかかっている場合は、ブーストを切って、ご使用ください。
ブーン、ズズズといったノイズが聞こえる	● ノイズを発生する機器から遠ざけてご使用ください(近くにある携帯電話やコンピューター機器など)。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　サービスセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社 http://www.bose.co.jp/
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル

● 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
● 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1341-J
11・10 (B)